

それぞれの町村が主体となった、個性あふれる地域づくりを後押し

衆議院議長 大島 理森

本日、全国町村長大会が開催されるにあたり、一言御挨拶を申し上げます。

まず、全国各地に甚大な被害をもたらした台風、豪雨等により、犠牲になられた方々に対し、お悔みを申し上げますとともに、被害に遭われた方々に心よりお見舞い申し上げます。また、被災された方々が一日も早く穏やかな生活に戻れるよう、懸命に復旧・復興に取り組んでいらっしゃる地方自治体の皆様に深く感謝申し上げます。

近年、世界は気候変動の影響を受け、我が国でも多くの大規模な自然災害が発生しております。このことから、従前にも増して、各地域の実情に合わせた防災・減災対策を講ずることが必要となっています。このため、住民に最も近い存在としての自治体が果たすべき役割は一段と大きなものとなっておりますが、全国的に人口減少が進んでおり、とりわけ町村では、将来的に行政サービスの水準を維持していくことが難しいと見込まれるところも多く、その対応は急務です。町村長の皆様には、日々こうしたさまざまな課題に向き合い、大変な御苦勞を重ねられていることと拝察いたしますが、そのような中、リーダーシップを発揮し、町村議会と車の両輪となって、住民のため、町村の発展に向けて御尽力いただいていることに改めて敬意を表します。

さて、来年は東京オリンピック・パラリンピックが開催され、選手をはじめ、世界中から多くの方々が全国各地を訪問されることと思います。このような世界との交流は、これからの各地域の活性化にとって不可欠の要素となるものと存じます。これを機に、より一層、世界の方々との交流を深められるとともに、そのような交流が永続的なものとなるよう、町村の潜在力を活かした取組を進め、その魅力を世界に発信されることを期待しております。

衆議院といたしましては、今後とも、関係委員会等における議論を通じ、それぞれの町村が主体となった、個性あふれる地域づくりを後押しすべく、力を尽くしてまいる所存です。

結びに、本大会のご成功とご列席の皆様方のますますのご活躍とご健勝をお祈りして、ご挨拶といたします。

